【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和5年3月6日(2023.3.6)

【国際公開番号】WO2021/200857
【出願番号】特願2022-512232(P2022-512232)
【国際特許分類】
C12N 15/63(2006.01)
C12N 15/13(2006.01)
C12N 1/15(2006.01)
C12N 1/19(2006.01)
C12N 1/21(2006.01)
C12N 5/10(2006.01)
C12P 21/08(2006.01)
C07K 16/30(2006.01)
C07K 16/46(2006.01)
C07K 16/28(2006.01)
A61P 35/00(2006.01)
A61P 35/02(2006.01)
A61K 45/00(2006.01)
A61K 39/395(2006.01)
A61K 31/7088(2006.01)
A61K 35/12(2015.01)
A61K 48/00(2006.01)
【FI】
C12N 15/63 ZZNA
C12N 15/13
C12N 1/15
C12N 1/19
C12N 1/21
C12N 5/10
C12P 21/08
C07K 16/30
C07K 16/46
C07K 16/28
A61P 35/00
A61P 35/02
A61K 45/00
A61K 39/395 T
A61K 39/395 E
A61K 31/7088
A61K 35/12
A61K 48/00

【手続補正書】
【提出日】令和5年2月24日(2023.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更

【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
配列番号５３で表されるアミノ酸配列の２１番目～１４０番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号５３で表されるアミノ酸配列の１５６番目～２６６番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、又は
配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の２１番目～１４０番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の１６１番目～２７１番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域を含む、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合する抗体又はその結合断片。
【請求項２】
ｓｃＦｖである、請求項１に記載の抗体又はその結合断片。
【請求項３】
配列番号５３で表されるアミノ酸配列の２１番目～２６６番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、又は
配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の２１番目～２７１番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、
である、請求項２記載の抗体又はその結合断片。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか１項に記載の抗体又はその結合断片をコードするポリヌクレオチド。
【請求項５】
請求項４に記載のポリヌクレオチドを含むベクター。
【請求項６】
請求項４に記載のポリヌクレオチド又は請求項５に記載のベクターを含む宿主細胞。
【請求項７】
（ｉ）請求項６に記載の宿主細胞を培養する工程、及び、（ii）工程（i）で得られた培養物から抗体又はその結合断片を精製する工程を含む、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合する抗体又はその結合断片を製造する方法。
【請求項８】
請求項７に記載の方法により得られた、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合する抗体又はその結合断片。
【請求項９】
下記（ｉ）又は（ｉｉ）記載の性質を有し、ＨＬＡ－Ａ２／ＮＹ－ＥＳＯに結合する抗体又はその結合断片：
（ｉ）請求項３記載の抗体又はその結合断片が認識するＨＬＡ－Ａ２／ＮＹ－ＥＳＯ上の部位に結合する；
（ｉｉ）請求項３記載の抗体又はその結合断片と、ヒトＬＨＬＡ－Ａ２／ＮＹ－ＥＳＯへの結合において競合する。
【請求項１０】
請求項１～３、８及び９のいずれか１項に記載の抗体又はその結合断片、請求項４に記載のポリヌクレオチド、請求項５に記載のベクター、又は請求項６に記載の細胞を有効成分として含む医薬組成物。
【請求項１１】
請求項１～３、８及び９のいずれか１項に記載の抗体又はその結合断片を含む、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合する分子。
【請求項１２】
多重特異性抗体である、請求項１１記載の分子。
【請求項１３】
二重特異性抗体である、請求項１１記載の分子。

【請求項１４】
ＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片を含む、請求項１１～１３のいずれか１項に記載の分子。
【請求項１５】
ＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片が、
（ＣＣＨ1）配列番号１４１で表されるアミノ酸配列からなる重鎖ＣＤＲＨ１、
（ＣＣＨ2）配列番号１４２で表されるアミノ酸配列からなる重鎖ＣＤＲＨ２若しくは配列番号１４２で表されるアミノ酸配列において、３番目のアミノ酸がＮ又はＳであるアミノ酸配列からなる重鎖ＣＤＲＨ２、
（ＣＣＨ3）配列番号１４３で表されるアミノ酸配列からなる重鎖ＣＤＲＨ３、
（ＣＣＬ1）配列番号１４４で表されるアミノ酸配列からなる軽鎖ＣＤＲＬ１、
（ＣＣＬ2）配列番号１４５で表されるアミノ酸配列からなる軽鎖ＣＤＲＬ２若しくは配列番号１４５で表されるアミノ酸配列において、２番目のアミノ酸がＮであるアミノ酸配列からなる軽鎖ＣＤＲＬ２、並びに
（ＣＣＬ3）配列番号１４６で表されるアミノ酸配列からなる軽鎖ＣＤＲＬ３
を含む、ＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項１４に記載の分子。
【請求項１６】
ＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片が、
（ＣＨ1）配列番号１３６で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域、
（ＣＨ2）配列番号１３７で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域、
（ＣＨ3）配列番号１４７で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域、
（ＣＨ4）配列番号１３８で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域、
（ＣＨ5）配列番号１３９で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域、
（ＣＨ6）配列番号１４０で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域、
（ＣＨ7）配列番号１５５で表されるアミノ酸配列の２７２番目～３８９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域、
（ＣＨ8）配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の２７７番目～３９４番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域、若しくは
（ＣＨ9）配列番号１５７で表されるアミノ酸配列の２７７番目～３９４番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域、並びに、
（ＣＬ1）配列番号１３６で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４３番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＬ2）配列番号１３７で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４１番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＬ3）配列番号１４７で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４３番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＬ4）配列番号１３８で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４１番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＬ5）配列番号１３９で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４３番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＬ6）配列番号１４０で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４３番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＬ7）配列番号１５５で表されるアミノ酸配列の４０５番目～５１１番目のアミノ酸

配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＬ８）配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の４１０番目～５１６番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、若しくは
（ＣＬ９）配列番号１５７で表されるアミノ酸配列の４１０番目～５１６番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
を含む、請求項１５に記載の分子。
【請求項１７】
ＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片が、
（ＣＨ１ＣＬ１）配列番号１３６で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号１３６で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４３番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＨ２ＣＬ２）配列番号１３７で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号１３７で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４１番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＨ３ＣＬ３）配列番号１４７で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号１４７で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４３番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＨ４ＣＬ４）配列番号１３８で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号１３８で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４１番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＨ５ＣＬ５）配列番号１３９で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号１３９で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４３番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＨ６ＣＬ６）配列番号１４０で表されるアミノ酸配列の２番目～１１９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号１４０で表されるアミノ酸配列の１３５番目～２４３番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＨ７ＣＬ７）配列番号１５５で表されるアミノ酸配列の２７２番目～３８９番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号１５５で表されるアミノ酸配列の４０５番目～５１１番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、
（ＣＨ８ＣＬ８）配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の２７７番目～３９４番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の４１０番目～５１６番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、又は、
（ＣＨ９ＣＬ９）配列番号１５７で表されるアミノ酸配列の２７７番目～３９４番目のアミノ酸配列からなる重鎖可変領域及び配列番号１５７で表されるアミノ酸配列の４１０番目～５１６番目のアミノ酸配列からなる軽鎖可変領域、を含む、請求項１６に記載の分子。
【請求項１８】
ＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片が、ｓｃＦｖである、請求項１４～１７のいずれか１項に記載の分子。
【請求項１９】
ｓｃＦｖが、
（ＣＳ１）配列番号１３６で表されるアミノ酸配列の２番目～２４３番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、
（ＣＳ２）配列番号１３７で表されるアミノ酸配列の２番目～２４１番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、
（ＣＳ３）配列番号１４７で表されるアミノ酸配列の２番目～２４３番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、
（ＣＳ４）配列番号１３８で表されるアミノ酸配列の２番目～２４１番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、
（ＣＳ５）配列番号１３９で表されるアミノ酸配列の２番目～２４３番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、

（ＣＳ６）配列番号１４０で表されるアミノ酸配列の２番目～２４３番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、
（ＣＳ７）配列番号１５５で表されるアミノ酸配列の２７２番目～５１１番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、
（ＣＳ８）配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の２７７番目～５１６番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、若しくは
（ＣＳ９）配列番号１５７で表されるアミノ酸配列の２７７番目～５１６番目のアミノ酸配列からなるｓｃＦｖ、
を含む、請求項１８に記載の分子。
【請求項２０】
Ｎ末端からＣ末端に向かって、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合するｓｃＦｖ、ＣＤ３に特異的に結合するｓｃＦｖ及びＦｃ領域（ｉ）をその順に含んでなる第１のポリペプチド；並びに、
Ｆｃ領域（ｉｉ）を含む第２ポリペプチドを含み、好適には、Ｆｃ領域（ｉ）とＦｃ領域（ｉｉ）において会合してなる、請求項１４～１９のいずれか１項に記載の分子。
【請求項２１】
ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合するｓｃＦｖが、ｓｃＦｖである請求項１記載のヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項２０記載の分子。
【請求項２２】
ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合するｓｃＦｖが、ｓｃＦｖである請求項２記載のヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項２０記載の分子。
【請求項２３】
ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合するｓｃＦｖが、ｓｃＦｖである請求項３記載のヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項２０記載の分子。
【請求項２４】
ＣＤ３に特異的に結合するｓｃＦｖが、ｓｃＦｖである請求項１５記載のＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項２０～２３のいずれか１項に記載の分子。
【請求項２５】
ＣＤ３に特異的に結合するｓｃＦｖが、ｓｃＦｖである請求項１６記載のＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項２０～２３のいずれか１項に記載の分子。
【請求項２６】
ＣＤ３に特異的に結合するｓｃＦｖが、ｓｃＦｖである請求項１７に記載のＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項２０～２３のいずれか１項に記載の分子。
【請求項２７】
ＣＤ３に特異的に結合するｓｃＦｖが、ｓｃＦｖである請求項１８又は１９に記載のＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項２０～２３のいずれか１項に記載の分子。
【請求項２８】
配列番号９６で表されるアミノ酸配列の２１番目～５１１番目のアミノ酸配列を含む、請求項２０～２７のいずれか１項に記載の分子。
【請求項２９】
配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の２１番目～５１６番目のアミノ酸配列、及び配列番号１５７で表されるアミノ酸配列の２１番目～５１６番目のアミノ酸配列からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項２０～２７のいずれか１項に記載の分子。

【請求項３０】
第１ポリペプチドが、配列番号９６で表されるアミノ酸配列の５２９番目～７４５番目のアミノ酸配列を含む、請求項２０～２９のいずれか１項に記載の分子。
【請求項３１】
第１ポリペプチドが、配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の５３４番目～７５０番目のアミノ酸配列、又は配列番号１５７で表されるアミノ酸配列の５３４番目～７５０番目のアミノ酸配列を含む、請求項２０～２９のいずれか１項に記載の分子。
【請求項３２】
第１ポリペプチドが、配列番号９６で表されるアミノ酸配列の２０番目～７４５番目のアミノ酸配列からなる、請求項２８又は３０記載の分子。
【請求項３３】
第１ポリペプチドが、配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の２０番目～７５０番目のアミノ酸配列からなる、又は配列番号１５７で表されるアミノ酸配列の２０番目～７５０番目のアミノ酸配列からなる、請求項２９又は３１記載の分子。
【請求項３４】
第２ポリペプチドが、配列番号８４で示されるアミノ酸配列の２０番目～２４６番目のアミノ酸配列を含んでなる、請求項２０～３３のいずれか１項に記載の分子。
【請求項３５】
Ｎ末端からＣ末端に向かって、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合するｓｃＦｖ、ＣＤ３に特異的に結合する抗体重鎖の可変領域及び定常領域ＣＨ１並びに免疫グロブリンＦｃ領域（ｉ）をその順で含んでなる第１ポリペプチド、免疫グロブリンのヒンジ領域及びＦｃ領域（ｉｉ）を含んでなる第２ポリペプチド、並びに、可変領域及び定常領域からなる抗体軽鎖を含む第３ポリペプチドを含み、好適には、第１ポリペプチドと第２ポリペプチドがＦｃ領域（ｉ）とＦｃ領域（ｉｉ）において会合しており、第１ポリペプチドが抗体重鎖の可変領域及び定常領域ＣＨ１において第３ポリペプチドと会合してなる、請求項１４～１９のいずれか１項に記載の分子。
【請求項３６】
第３ポリペプチドが、可変領域及び定常領域からなる、該ＣＤ３に特異的に結合する抗体軽鎖を含む、請求項３５記載の分子。
【請求項３７】
ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合するｓｃＦｖが、ｓｃＦｖである請求項１記載のヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項３５又は３６に記載の分子。
【請求項３８】
ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合するｓｃＦｖが、ｓｃＦｖである請求項２記載のヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項３５又は３６に記載の分子。
【請求項３９】
ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合するｓｃＦｖが、ｓｃＦｖである請求項３記載のヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項３５又は３６に記載の分子。
【請求項４０】
該ＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片が、Ｆａｂである、請求項３５～３９のいずれか１項に記載の分子
【請求項４１】
該ＣＤ３に特異的に結合するＦａｂが、Ｆａｂである請求項１５記載のＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項４０に記載の分子。
【請求項４２】
該ＣＤ３に特異的に結合するＦａｂが、Ｆａｂである請求項１６記載のＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項４０に記載の分子。

【請求項４３】
該ＣＤ３に特異的に結合するＦａｂが、Ｆａｂである請求項１７記載のＣＤ３に特異的に結合する抗体又はその結合断片である、請求項４０に記載の分子。
【請求項４４】
第１ポリペプチドが、配列番号１６０で表されるアミノ酸配列の２１番目～３９４番目のアミノ酸配列を含む、請求項３５～４３のいずれか１項に記載の分子。
【請求項４５】
第１ポリペプチドが、下記（ｉ）又は（ｉｉ）に記載のアミノ酸配列を含む、請求項３５～４４のいずれか１項に記載の分子：
（ｉ）配列番号１６０で表されるアミノ酸配列の２０番目～７２４番目のアミノ酸配列；
（ｉｉ）配列番号１９７で表されるアミノ酸配列の２０番目～７１９番目のアミノ酸配列。
【請求項４６】
第２ポリペプチドが、配列番号８４で示されるアミノ酸配列の２０番目～２４６番目のアミノ酸配列を含んでなる、請求項３５～４５のいずれか１項に記載の分子。
【請求項４７】
第３ポリペプチドが、配列番号１６１で表されるアミノ酸配列の２１番目～１２７番目のアミノ酸配列を含んでなる、請求項３５～４６のいずれか１項に記載の分子。
【請求項４８】
第３ポリペプチドが、配列番号１６１で表されるアミノ酸配列の２１番目～２３３番目のアミノ酸配列を含んでなる、請求項３５～４７のいずれか１項に記載の分子。
【請求項４９】
請求項１１～４８のいずれか１項に記載の分子であって、該分子に含まれる１つ又は２つ以上のポリペプチドの有するアミノ酸配列において、該配列のカルボキシル末端から１つ又は２つのアミノ酸が欠失してなる、該分子。
【請求項５０】
請求項１１～４９のいずれか１項に記載の分子に含まれるアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド。
【請求項５１】
請求項５０に記載のポリヌクレオチドを含むベクター。
【請求項５２】
請求項５０に記載のポリヌクレオチド又は請求項５１に記載のベクターを含む宿主細胞。
【請求項５３】
(i) 請求項５２に記載の宿主細胞を培養する工程、及び (ii)工程(i)で得られた培養物から抗体又はその結合断片を精製する工程を含む、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯ及びヒトＣＤ３に特異的に結合する分子を製造する方法。
【請求項５４】
請求項５３に記載の方法により得られる、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯ及びヒトＣＤ３に特異的に結合する分子。
【請求項５５】
請求項１１～４９及び５４のいずれか１項に記載の分子、請求項５０に記載のポリヌクレオチド、請求項５１に記載のベクター、又は請求項５２に記載の宿主細胞を有効成分として含む医薬組成物。
【請求項５６】
抗がん剤である、請求項１０又は５５記載の医薬組成物。
【請求項５７】
がんが、腎がん、メラノーマ、有棘細胞がん、基底細胞がん、結膜がん、口腔がん、喉頭がん、咽頭がん、甲状腺がん、肺がん（非小細胞肺がん（腺がん、扁平上皮がん、大細胞がん）、小細胞肺がん）、乳がん、食道がん、胃がん、十二指腸がん、小腸がん、大腸

がん、直腸がん、虫垂がん、肛門がん、肝がん、胆嚢がん、胆管がん、膵がん、副腎がん、膀胱がん、前立腺がん、子宮がん、膣がん、脂肪肉腫、血管肉腫、軟骨肉腫、横紋筋肉腫、ユーイング肉腫、骨肉腫、未分化多型肉腫、粘液型線維肉腫、悪性末梢性神経鞘腫、後腹膜肉腫、滑膜肉腫、子宮肉腫、消化管間質腫瘍、平滑筋肉腫、類上皮肉腫、B細胞リンパ腫、Ｔ・ＮＫ細胞リンパ腫、ホジキンリンパ腫、骨髄性白血病、リンパ性白血病、骨髄増殖性疾患、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、精巣がん及び卵巣がんからなる群から選択される１つ又は２つ以上である、請求項５６記載の医薬組成物。

【請求項５８】

他の薬剤と組み合わせて使用される、請求項１０及び５５～５７のいずれか１項に記載の医薬組成物。

【請求項５９】

Ｎ末端からＣ末端に向かって、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合するｓｃＦｖ、ＣＤ３に特異的に結合するｓｃＦｖ及びＦｃ領域（ｉ）をその順に含んでなる第１のポリペプチド；並びに、Ｆｃ領域（ｉｉ）を含む第２ポリペプチドを含み、

Ｆｃ領域（ｉ）とＦｃ領域（ｉｉ）において会合してなり、

第１のポリペプチドが、配列番号９６で表されるアミノ酸配列の２０番目～７４５番目のアミノ酸配列、配列番号１５５で表されるアミノ酸配列の２０番目～７４５番目のアミノ酸配列、配列番号１５６で表されるアミノ酸配列の２０番目～７５０番目のアミノ酸配列、若しくは、配列番号１５７で表されるアミノ酸配列の２０番目～７５０番目のアミノ酸配列、又は、該アミノ酸配列のカルボキシル末端から１つ又は２つのアミノ酸が欠失してなるアミノ酸配列を含み、

第２のポリペプチドが、配列番号８４で示されるアミノ酸配列の２０番目～２４６番目のアミノ酸配列、又は、該アミノ酸配列のカルボキシル末端から１つ又は２つのアミノ酸が欠失してなるアミノ酸配列を含んでなる、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯ及びヒトＣＤ３に特異的に結合する多重特異性分子。

【請求項６０】

Ｎ末端からＣ末端に向かって、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯに特異的に結合するｓｃＦｖ、ＣＤ３に特異的に結合する抗体重鎖の可変領域及び定常領域ＣＨ１並びに免疫グロブリンＦｃ領域（ｉ）をその順で含んでなる第１ポリペプチド、免疫グロブリンのヒンジ領域及びＦｃ領域（ｉｉ）を含んでなる第２ポリペプチド、並びに、可変領域及び定常領域からなる抗体軽鎖を含む第３ポリペプチドを含み、

第１ポリペプチドと第２ポリペプチドがＦｃ領域（ｉ）とＦｃ領域（ｉｉ）において会合しており、第１ポリペプチドが抗体重鎖の可変領域及び定常領域ＣＨ１において第３ポリペプチドと会合してなり、

第１のポリペプチドが、配列番号１６０で表されるアミノ酸配列の２０番目～７２４番目のアミノ酸配列若しくは配列番号１９７で表されるアミノ酸配列の２０番目～７１９番目のアミノ酸配、又は、該アミノ酸配列のカルボキシル末端から１つ又は２つのアミノ酸が欠失してなるアミノ酸配列を含み、

第２のポリペプチドが、配列番号８４で示されるアミノ酸配列の２０番目～２４６番目のアミノ酸配列を含み、

第３ポリペプチドが、配列番号１６１で表されるアミノ酸配列の２１番目～１２７番目のアミノ酸配列、又は、配列番号１６１で表されるアミノ酸配列の２１番目～２３３番目のアミノ酸配列を含んでなる、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯ及びヒトＣＤ３に特異的に結合する多重特異性分子。

【請求項６１】

請求項５９又は６０に記載の分子に含まれるアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド。

【請求項６２】

請求項６１に記載のポリヌクレオチドを含むベクター。

【請求項６３】

請求項６１に記載のポリヌクレオチド又は請求項６２に記載のベクターを含む宿主細胞。
【請求項６４】
(i) 請求項６３に記載の宿主細胞を培養する工程、及び (ii)工程(i)で得られた培養物から抗体又はその結合断片を精製する工程を含む、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯ及びヒトＣＤ３に特異的に結合する多重特異性分子を製造する方法。
【請求項６５】
請求項６４に記載の方法により得られる、ヒトＨＬＡ／ＮＹ－ＥＳＯ及びヒトＣＤ３に特異的に結合する多重特異性分子。
【請求項６６】
請求項５９、６０又は６５に記載の分子、請求項６１に記載のポリヌクレオチド、請求項６２に記載のベクター、又は請求項６３に記載の宿主細胞を有効成分として含む医薬組成物。
【請求項６７】
抗がん剤である、請求項６６記載の医薬組成物。
【請求項６８】
がんが、腎がん、メラノーマ、有棘細胞がん、基底細胞がん、結膜がん、口腔がん、喉頭がん、咽頭がん、甲状腺がん、肺がん（非小細胞肺がん（腺がん、扁平上皮がん、大細胞がん）、小細胞肺がん）、乳がん、食道がん、胃がん、十二指腸がん、小腸がん、大腸がん、直腸がん、虫垂がん、肛門がん、肝がん、胆嚢がん、胆管がん、膵がん、副腎がん、膀胱がん、前立腺がん、子宮がん、膣がん、脂肪肉腫、血管肉腫、軟骨肉腫、横紋筋肉腫、ユーイング肉腫、骨肉腫、未分化多型肉腫、粘液型線維肉腫、悪性末梢性神経鞘腫、後腹膜肉腫、滑膜肉腫、子宮肉腫、消化管間質腫瘍、平滑筋肉腫、類上皮肉腫、Ｂ細胞リンパ腫、Ｔ・ＮＫ細胞リンパ腫、ホジキンリンパ腫、骨髄性白血病、リンパ性白血病、骨髄増殖性疾患、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、精巣がん及び卵巣がんからなる群から選択される１つ又は２つ以上である、請求項６７記載の医薬組成物。
【請求項６９】
他の薬剤と組み合わせて使用される、請求項６６～６８のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項７０】
他の薬剤を含む、請求項６６～６９のいずれか１項に記載の医薬組成物。